

悪質勧誘にご用心!

今回は、複数の業者が登場する「劇場型」といわれる勧誘手口の例を紹介します。

ある日、佐藤さんのお宅に、聞いたことのない会社から電話がかかってきました。
(株式の勧誘の電話のようです。)

「タヌキ社」

「種(タヌキ)コーポレーション」と申します。実は、当社は近々、上場することが決まりました。

はい、佐藤です。



上場すれば値上がりしますので、**当社の株を買えば確実に儲かります!**

興味はないので結構です...

まあどうせです。パンフレットを送りますので、ご確認ください!

佐藤さん、届いたパンフレットを見て少し興味を持った様子です。

きれいなパンフレット

一株十万円で買えるのね。

すると数日後、今度は別の業者から、タヌキ社の株の件で電話がかかってきました。
(アレアレ、ちょっとタイミングがよすぎますね?)

「キツネ社」

こちらは「種(キツネ)キツネ」と申します。
ところで、佐藤さんは、タヌキ社の株をお持ちですか?
お持ちでしたら、当社に買い取らせてほしいのですが。

持っていませんが、その株なら、少し前に勧誘の電話がありましたよ。

良かった!それを是非買ってください。佐藤さんが買った株は、**当社が高い価格で買い取ります!**
(ただし、最低でも、五十株が必要です。)

電話のあと...

キツネ社が後で高く買い取ってくれるなら、損はないし、いい話よねえ。

こう考えた佐藤さんは、タヌキ社に五十株の購入を申し込み、代金五百万円を振り込みました。
そして、キツネ社に連絡すると...

約束どおり、株の買取りをお願いします。

いやあ、それが都合が変わりまして、**買取りはできないんですよ。**

そんな...。話が違くないですか!

そう言われてもねえ。じゃ失礼しますよ。
(ガキヤ)

この後すぐ、キツネ社は電話が不通になりました。タヌキ社の上場の話もウソで、これも電話が不通になりました。
(どうやら、一連の話は、キツネとタヌキが仕組んだ作り話だったようです。)



業者の行方はつかめず、五百万円を取り返せる見込みは今もたないままです。

騙されたあ。

最後に備えコッソツ貯めたお金だったのに...

(注) この話はフィクションです。実際の勧誘文句は様々ですのでお気をつけください。